

ものづくりは止まらない!

「計装システムのサービスで、ものづくりの現場を支えているのを実感しています」。ソウ・システム・サービス(青梅市新町)の戸梶総社長(48)は語る。車のバンパーや携帯電話に使われる樹脂素材、紙や医薬品…さまざまな材料を大量に作る工場では、温度や圧力を自動制御するコンピューターシステムが欠かせない。11年前、羽村の自宅の四畳半から一人で始めた制御システムのサービスは、国内最大手の化学・石油、医薬、製紙会社と取引する会社へと急成長した。



「工場の要望に応えた計装システムサービスを提供した」と戸梶社長(前列左から2人目)

計装システム設計

青梅市新町 ソウ・システム・サービス

東京商船大学(現東京海洋大学)を卒業後、横河北辰電機(現横河電機)の石油部門に勤めた戸梶社長。工場の制御システム設計を手がけていたが、折あしく石油の完全自由化で、多くの製油所が閉鎖。リーダーを務めていたチームが解体し、37歳で退職することになった。

「システム設計の手伝いをしてほしい」。取引のあった関連会社から頼まれた98年、制御システムの会社を自宅で立ち上げた。しかし、社員は自分一人。始めの3年は、ほとんど仕事になかった。



ものづくりの工程をコンピューターで管理制御する計装システム

四畳半から始まった

制御システム

「大変だったけれど、面白かった。一度会社の外へ出たおかげで、制御システムのサービスの隙間が見えた」。設置費用が数千万円から数億円単位に上る計装システムは、実はソフトの内容を少し変える「小改造」が得意だ。

機械の温度計を1本新しくした工場が「制御プログラムを少し変えたい」と、システムの内元のメーカーにいったらどうなるか。プロジェクトチームを組んで動く大手メーカーは、派遣する人員を調整するだけで数週間かかる。

「自分の会社なら、2、3日で人を出せる」。工場に飛び込み営業を続け、断られて

「大変だったけれど、面白かった。一度会社の外へ出たおかげで、制御システムのサービスの隙間が見えた」。設置費用が数千万円から数億円単位に上る計装システムは、実はソフトの内容を少し変える「小改造」が得意だ。

「自分の会社なら、2、3日で人を出せる」。工場に飛び込み営業を続け、断られて

「何をどう作っていいかわからない」。現場は全社。取引先の工場は全国200か所以上ある。「何をどう作っていいかわからない」と戸梶社長。多額の資金をかけ

「こんなサービスができないの?」。顧客の一言が、次のヒントにつながる。

「これからは、古い機種の故障対応にも力を入れたい」と戸梶社長。多額の資金をかけ

「景気の悪い今だからこそ、新しい分野に挑戦できる」。サービスの可能性への探求は、今も続いている。

(澤村みどり)

次回は1月に掲載予定です

製造の現場支え

も1年かけて足を運んだ。

現在、大規模工場向けにDCS(分散型計装システム)の設計やメンテナンスサービスを一手に引き受ける同社。取引先の工場は全国200か所以上ある。「何をどう作っていいかわからない」と戸梶社長。多額の資金をかけ